

個別研修（川邊 真歩）

研修テーマ：乗馬療育における作業療法士の役割

ドイツ キュルテン

Reittherapeutisches Zentrum Meirhof（乗馬療育センター）

カトリック財団 Die Gute Hand の乗馬療育センター。主に自閉症スペクトラムや ADHD、摂食障害の子供や青年を対象に、教育・心理的視点での乗馬療育と理学療法士が行う乗馬療法（ヒポセラピー）を提供している。また、併設する若者たちの自立支援のためのグループホームから職業訓練の一環として厩舎作業等の受け入れも行っている。



施設外観

子ども達の生活するグループホームを併設。プログラムや仕事の時間になったら、子供たち自身で参加しに来る。



放牧地

馬たちは仕事がない時は、広い放牧地でのんびりと過ごす。馬にとってもストレスが少ない環境作りを行っている。



屋内馬場

雨天時などの天候に左右されずにプログラムを行うことが可能。晴れているときは敷地外の道路を歩くことも。



屋内馬場の入り口にある看板

安全の確保のため、屋内馬場に入出入りするときは必ず声掛けをするようにルールを設定。利用する子どもたち同士やスタッフとの頻繁な声掛けのやり取りが聞こえる。



馬と使用する道具

馬の出し入れや使用する道具の準備は基本的に子供たちが行う。分かりやすいようにそれぞれの馬の名前や絵が描かれている。



プログラムで使用するカード

プログラムではカードの絵のような馬の上で様々な姿勢を取る軽乗を取り入れている。子ども達が数人で協力しながら教えあう様子も見受けられる。



スタッフの休憩ルーム

スタッフみんなでランチをしたり、お茶を飲みながらその日のプログラムについてミーティングを行う。毎日、積極的な意見交換の場となっている。



Reittherapeutisches Zentrum Meirhofの
施設長 Mariettaさんと